

令和5年度第2回亀岡市社会教育委員会議 会議録

1 日時 令和6年2月6日(火) 午前10時00分～正午

2 場所 亀岡市役所4階 教育委員会室

3 出席委員

工藤 和之	議長
山田 昌子	副議長
川口 研一	委員
大橋 洋子	委員
明田 晋治	委員
入江 治雄	委員
池田 恭浩	委員
木本 裕子	委員
黒川 孝宏	委員

4 欠席委員

中嶋 知彦	委員
中澤 博幸	委員
猪子 純子	委員

5 出席事務局職員

神先	教育長
森岡	教育部長
樋口	社会教育課長
宮本	社会教育課人権教育担当課長
岡田	歴史文化財課長兼文化資料館長
小川	図書館長

6 傍聴者

2名

7 議事の概要

- ① 開会
- ② 委嘱状交付
- ③ 開会(教育長挨拶)
- ④ 連絡・報告事項

[1]令和5年度亀岡市社会教育推進事業について

[2]令和5年度亀岡市人権教育推進事業について

[3]亀岡市社会教育委員の令和5年度活動報告及び令和6年度活動計画について

#### [4]その他

・社会教育委員からの報告等

#### ⑤ 閉会(教育部長挨拶)

### 【議事に対する意見】

#### ④ 連絡・報告事項

[1]令和5年度亀岡市社会教育推進事業について

##### ○事務局(社会教育課)

今年度の新たな取り組みとして、地域学校協働活動推進事業の中で2月に亀岡市内の地域コーディネーターを集めて研修会を開催する。本研修会は地域コーディネーターをはじめ関係者の資質向上と情報交換を目的とし、2月19日月曜日に市役所別館にて開催する。曾我部小学校の実践発表をはじめ、中学校区ごとに集まり、各地域の活動について情報交換をしていただく内容を考えている。

亀岡市さわやか教室については、今年度は年間7講座を開設しており、すでに第6講座まで開催した。最終講座である第7講座はNHK 京都放送局公開番組「上方演芸会」の収録と共催実施をする。現在定員を超える多くの申込みをいただいております。観覧については抽選になるが、興味があったら、申し込みをしてほしい。

##### ○委員

地域学校協働活動について地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターの活動地域や名前は公開されているのか。

##### ○事務局(社会教育課)

公開はしていない。

##### ○委員

地域と学校が連携して子育てをしていこうという流れの中で、その地域の誰が地域学校協働活動をされているかが分かれば、より身近に地域の方がコーディネーター等に相談しやすい環境ができると思う。また、地域で「自分にはこういうことができる」といった声が挙がった時に、もっとコーディネーター等に伝わりやすい環境ができれば、地域学校協働活動の発展につながると思う。できるかぎり地域での展開を広げていけるような取り組み方を考えてほしい。

##### ○事務局(社会教育課)

今、意見をいただいたとおり地域学校協働活動を地域で展開していけるような取り組み方を今後も考えていきたい。また、今回初めて開催する研修では、それぞれの地域の実情や成功例などを出し合いながら、活動につなげていければと思う。

○事務局(歴史文化財課)

文化財保護事務については市指定文化財の指定を行うなど、文化財保護行政の推進及び向上を図ることを目的としている。

市指定文化財の指定に関しては、先日文化財保護委員会を開催し、昨年度は亀山城惣構跡(円通寺境内地)を指定したが、今年度は秋葉神社境内地にある惣構跡を新たに指定する手続きを進めることで了解が得られた。

文化財保護事務(補助事業)は、市内遺跡の発掘調査と史跡丹波国分寺跡記念物保存修理事業が主な事業である。

今年度の史跡丹波国分寺跡記念物保存修理事業に関しては、図面資料上部の赤丸の部分に僧房跡の礎石を設置、加えて図面資料左下部の門手前には芝張り工事を行う予定で3月完成を目指している。なお、昨年度までに芝生を敷設した箇所を活用して、グラウンドゴルフをしたいとの申し出が地元自治会からあった。埋蔵文化財の包蔵地であり、使用状況によっては文化財を毀滅することも懸念されたが、グラウンドゴルフで使用するにあたって、地面を掘ることはないということが確認されたので、初めて使用を許可した。

今後も文化財の有効活用と保護を図りつつ、地元にも活用していただけるような取り組みも進めていきたいと考えている。

文化財保護(単独事業)については、亀岡祭山鉾行事保存継承事業など主に補助金交付を行っている。昨年のはじめは新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、久しぶりに山鉾巡航やくじ取り式が開催できた。

○委員

文化財保護事務で、亀山城惣構跡(秋葉神社境内地域)を亀岡市指定文化財に指定とあるが、3月末までには指定ができるのか。保護委員会はいつ開催されたのか。

○事務局(歴史文化財課)

文化財保護委員会は1月の末に開催した。ただし、文化財保護委員会の後、諮問や答申という手続きがあり、教育委員会に諮るタイミングについても現在調整中であるため、3月末までに指定できるかは未定である。

○委員

添付資料にある図面だが、国分寺跡というのが分かりにくい。口頭で補足してもらうことを前提とした図面だと思うが、礎石設置などいろいろ書いてあるので、図面を理解するのが困難である。結構大きな規模の事業でもあるので、前回も申し上げたが、もっと分かるように工夫した資料を提示していただければと思う。例えば、サインの設置についてもどのようなサインの設置か。これから設置されるのかとか。

○事務局(歴史文化財課)

設置するサインは僧房跡の解説に係るもので、図面資料左上部⑤の位置に設置した。

○委員

一部をグラウンドゴルフに使っていることは問題ないのか。

#### ○事務局(歴史文化財課)

申し出があった段階で京都府にも確認した。最後は市町の判断となるが、埋蔵文化財の毀滅の恐れがないのであれば問題はないと認識している。

#### ○委員

以前、他市での会計検査院の監査時に、文化財の包蔵地のような場所でグラウンドゴルフかゲートボールかをしているのを見て、目的外使用にあたるのではないかと大騒ぎになったことがあった。

心配に思ったが、確認をしているなら問題ないかと思う。地元の人がそこに「グラウンドゴルフ場」とかの看板設置をする可能性はないか。

#### ○事務局(歴史文化財課)

毎週曜日を決めて開催されるものではないため看板設置の可能性はない。なお、今回のグラウンドゴルフでの使用は、日頃から管理をいただいている地元国分区の方からの申し出であり、自分たちが整備した芝面が、今後活用できるのではないかという思いから、試験的に使用されたものである。例えば、映画の撮影で国分寺を使用していただくことがあるのと同じように、その一部分を限定的にご使用いただいたということである。

#### ○委員

地元の意見は大切であるし、地元の方に有効利用していただくために柔軟な対応は必要だと思うが、注意しないと本末転倒にもなりかねないので、十分に検討し対応をお願いしたい。

亀岡市新資料館(仮称)整備検討委員会が今年度3回開催されるということだが、既に開催された1回目の議事録は確認できたが、2回目の議事録は今作成中であるのか。新しい資料館の整備に市民の関心は高いのではないかと思う。しっかりと議事録を作成し、情報公開をしてほしい。

#### ○委員

国分寺跡について、実際現地行っただが、場所が分からなかった。車で走っていると小さい看板に矢印があるが、その看板を超え細いあぜ道に入っていかなければならず不安に思った。今、整備している途中ということだが、もっと見通しの良いところに大きな看板を設置したほうが良いのではないかと思う。

また、現地に僧房跡ほか各建物跡を示す説明看板があるが、専門的な言葉ばかりで内容が難しくイメージが湧きにくい。他市町村にある史跡を参考にしたり、当時の様子が視覚で分かるイメージ図があればよいと思う。子どもが見学に来た時に、もっと興味が持てるような工夫が必要ではないかと思う。

#### ○事務局(図書館)

##### 〈子ども読書推進事業について〉

学校図書指導員配置事業については、学校図書館に指導員(ボランティア)を昨年度は16校だったが今年度は17校に配置をし、学校図書館内での指導員による本の修理費や清掃、本の読み聞かせなどの活動を2学期までに584回全校で実施している。新型コロナ

ナウウイルスの規制が緩和されたことで、少しずつ本の読み聞かせが増えている。

図書館内の児童書は、今のところ 1,209 冊を購入し、増冊を図っている。

読書に興味関心を高める一環として配布している読書手帳「かめおかつこブックノート」は今年 159 冊を配布した。

学校配本は小学校 18 校に 15,050 冊、幼稚園・保育園・保育所等 17 施設で 3,480 冊を配本した。

ブックスタート事業は、生後 11 ヶ月のお子さんに対して、読書に興味を持っていただくため、絵本をプレゼントしている取り組みである。これは 11 ヶ月健診の会場に親子で絵本を選ぶコーナーを設けて、5 冊の中から 1 冊を選んで持って帰っていただく。この取り組みは親が子どもに対して読み聞かせをするきっかけづくりを目的として進めている。令和 6 年 1 月現在では 393 冊をプレゼントした。

#### ○事務局(文化資料館)

〈文化資料館展示事業について〉

文化資料館展示事業として、第 39 回特別展「足利尊氏展」を11月3日から 12 月 10 日まで開催した。来館者は 691 名。来館者には関東方面から来られる方や、3 回も再来館される方がおられた。関東のお寺や博物館で所蔵している資料も借用し、ご覧いただいた。

第 72 回企画展「丹波亀山の藩校と近代教育」は、2月3日から開始した。昨年度から今年度にかけて、明治 5 年の学制公布を受けて開校した亀岡市内の学校で創立 150 周年記念事業が開催されている。その記念として今回の企画展を企画し、亀山藩校で行われていた教育に関する文書や地元の方の学校建設に係る要望書等を展示している。学制公布以降の資料はスペースの関係があり、十分な展示はできていないが、現在の学校教育のルーツとなった、地元の方々の思いが詰まった嘆願書や資料等々を展示しているので、ぜひお越しいただきたい。

常設展は亀岡の歴史と文化ということで、古代から現代にいたるまで亀岡の主要な人物や事象に関わる資料を展示している。

ロビー展では季節ごとに合った展示を開催している。

#### ○委員

今回の特別展足利尊氏展の来場者が 691 名とあったが、普段の特別展は何名ぐらい来られているのかを聞きたい。

#### ○事務局(文化資料館)

特別展として昨年度は「形原松平展」を開催し、596 人の来館があった。今年度の特別展の来館者は昨年度に比べ 100 人程度増えている。また、今年度特別展の来館者は亀岡市外の方も多く、亀岡市の魅力が全国に発信される良い機会だったのではないかと考えている。

#### ○委員

来場者は多ければ良いというものではないが、そこから分析していただいて、後の展示に活かしていただけたらと思う。

### ○委員

展示は、地域にとって重要なテーマで、かつ地域の歴史文化をしっかりと認識してもらう機会にすることが大事だと思うが、地域に限られたテーマになってしまうと多くの来場者を呼び込むのは難しいと思う。しかし、足利尊氏や明智光秀など歴史的に著名な方や円山応挙などの展示となると全国からの来場者を見込める。その両方のバランスをとりながら展示を考えていくのが、文化資料館の役割であると考えている。

今回の足利尊氏の展示により多くの来場者があったことはとても良かった。

## 亀岡市新資料館構想策定事業

### ○事務局(歴史文化財課)

新資料館基本構想策定事業については、令和4年度までに開催された文化施設のあり方を考える懇話会等の意見を受けて、新資料館の整備構想の策定を進めている。

令和5年度については基本構想を策定するための整備検討委員会委員として、元京都国立博物館館長の佐々木丞平先生はじめとした計7名の有識者の方に委嘱状を交付し、現在もご協議をいただいております。今年度は3回の検討委員会開催を予定している。

また先進地視察のため、刈谷市歴史博物館や市立伊丹ミュージアムを見学した。

市民ワークショップは2月開催予定で現在準備を進めている。

亀岡市新資料館(仮称)整備基本構想の策定はこの3月をもって完了する予定である。

## 亀岡市デジタル文化資料館の運営について

### ○委員

少し前に南丹地区社会教育委員視察研修会が文化資料館で開催され、資料館の展示やメタバースの紹介をいただいた。メタバース等を紹介した文化資料館の特設ホームページは、yahoo等の検索エンジンで「亀岡市 文化資料館」と検索すると、最近のアクセス数の伸びにより検索結果のトップに上がってくるようになり、大変喜ばしいことである。

ただ、文化資料館と比べ歴史文化財課のホームページは全然変わっていない。

亀岡市の文化財に関心のある人は、まず文化資料館・歴史文化財課のホームページを見る。そこで、ホームページの写真を見て何を指しているのかと考えるわけだが、例えば、国分寺の紹介ページには国分寺境内の様子が分かる写真をページ背景にするとか、見る人が分かる工夫が必要だと思う。

また、ホームページ上に新着情報が表示されているが、令和4年か3年の情報が表示されたままで、その先にアクセスしても最新情報が表示されない。他委員が発言されたように、ホームページに例えば国分寺の想像図を載せるような工夫をして、イメージをクリックすると対応する場所の地図が表示されるようにするとか、一つずつでもホームページを充実させてほしい。

国分寺保存活用事業は国の補助金も出ており、歴史文化財課としてメインの事業である。市内の文化財の分布について、資料館のホームページのデータベースで既に紹介は

してあるが、それにプラスして歴史文化財課としてどのように把握し、その歴史的意義についての情報発信をホームページでしてほしい。

#### かめおか児童クラブ運営事業

##### ○委員

小・中学校は基本的に徒歩で通う場所であるが、夕方になると児童クラブに通う子どもの送迎車でいっぱいになり、駐車場が車で溢れかえっている。児童クラブの関係者が車の誘導をされているのをよく見るが、この状況では事故が起きかねない。事故が起きないように児童クラブに通う児童の保護者への意識付けや、対策を考えてもらいたい。

##### ○委員

放課後でも子どもたちを見てもらえる環境が整っているのは、保護者や教師にとって嬉しいことだと思う。車で迎えに来る保護者は、仕事から帰ってくる途中で児童クラブに来られるのだと思う。混雑緩和のため運動場に車を入れるのはどうだろうか。安全面にも配慮した運営をしていただきたい。

##### ○委員

土日休みの保護者ばかりじゃないため、土日祝の開設が拡大されたのは保護者にとっても心強いと思う。

#### 図書館中央館リニューアル工事

【事務局からリニューアル工事の進捗状況についてスクリーン映像により説明がなされた。また、新たに設置するカーテンについて、デザインを担当した木本氏(委員)から亀岡市の四季と親子の触れ合いをデザインした旨の説明がサンプル生地を用いて行われた。】

##### ○委員

カーテンなど細部までこだわった素敵な図書館にリニューアルされることは喜ばしい。子どもたちもゆっくり本と関わる時間が過ごせるだろう。

#### [2]令和5年度亀岡市人権教育推進事業について

##### ○委員

人権教育講座や人権指導者研修会の開始時間を遅らせたことが教師の間で好評だった。教師は、学級での終わりの会が終了してから参加しているので今後も今年度のような開始時間にしてもらいたい。教師だけではなく、PTAにも人権に関する学びを広げ、みんなで人権について考える空気を作っていきたい。

#### [3]亀岡市社会教育委員の令和5年度活動報告及び令和6年度活動計画について

### ○委員

はたちの会の会場がガレリアかめおかからスタジアムになった経過を知りたい。亀岡の大きな財産であるサンガスタジアムに参加者に見てもらうのが一つの理由ではないかと思うが、サンガスタジアムはとても寒く、着物を着ている参加者は悪天候になった時に困る。

もしコロナ禍で3密を避けるためにサンガスタジアムに会場を変更したのであれば、ガレリアかめおかに戻すことを検討してはどうか。参加者がほっとできるような会になれば良いと思う。

### ○事務局(社会教育課)

おっしゃる通り、当初はコロナ対策のため会場をサンガスタジアムに変更した。しかし、その後は記憶に残る式典を目指し、新しい亀岡のランドマークであるサンガスタジアムで引き続き式典を開催してきた。

また、これから20歳なる高校生を対象に、はたちの会の開催場所についてアンケート調査を行ったところ、約7割がサンガスタジアムでの開催がいいと回答し、LINEを活用した同様のアンケート調査でもサンガスタジアムを希望する声が多かった。その結果を踏まえて、はたちの会はサンガスタジアムでの開催を続けている。

降雨など悪天候の場合には、ステージ上にはテントを張り、参加者にはスタンド席の屋根がかかっている部分に着席してもらうなどの対策を講じる。今後も式典対象者である20歳の市民の声を聞きながら開催場所には十分検討していきたい。今のところはサンガスタジアムで引き続き開催する予定である。

### ○委員

(活動計画について)令和6年9月6日に近畿地区社会教育研究大会京都大会が京都テルサで開催される。その際に参加要請があると思うので、ぜひ都合を合わせて参加していただきたい。

### [4]その他

- ・社会教育委員からの報告等

### ○委員

ボーイスカウトは社会教育の一環として、学校で学べないことを、活動を通じて学んでいる。青少年健全育成会という観点で、ボーイスカウトの活動中はスマホの使用を制限し、隊長がスマホをあずかっている。昨年度はボーイスカウト活動60周年を迎え3泊4日の野外研修を行ったが、その時もスマホの使用を制限した。スマホを使ってはいけないというのは厳しい制限にはなるが、活動に集中するためには必要であると考えている。

### ○委員

亀岡霧の芸術祭×社会教育「てとてふれあう芸術祭」を開催した。かめのご学級に通う知的障がいのある方、ふれあい学級に通う視覚障がいの方、そしてかめの会に通う聴覚障がいのある方は、社会参加や仲間づくり、親子や地域の人との交流を目的に、様々な活動をされている。

工作、俳句、手芸、木工、そして絵画の作品を今年度も開かれたアトリエで8月に展示



を行った。その時に作品だけでなく、作品ができるまでの過程や人と人との触れ合いを見ていただくため、作品ができるまでの映像を広報プロモーション課の協力のもと作成した。

【映像視聴】昔使った鉛筆やクレヨンや絵の具などを回収し、それを使って引きこもりの方や障がいのある方が作品を作るというプロジェクト「巡り堂」を行っている。

回収した画材は開かれたアトリエに置いており、子供たちや必要とした人が無料で持ち帰ることができる。その画材を使って、「てとてつながる芸術祭」でも作品を制作した。

社会教育以外にも様々な課と連携して来年度もたくさんの企画をやりたいと思う。